

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

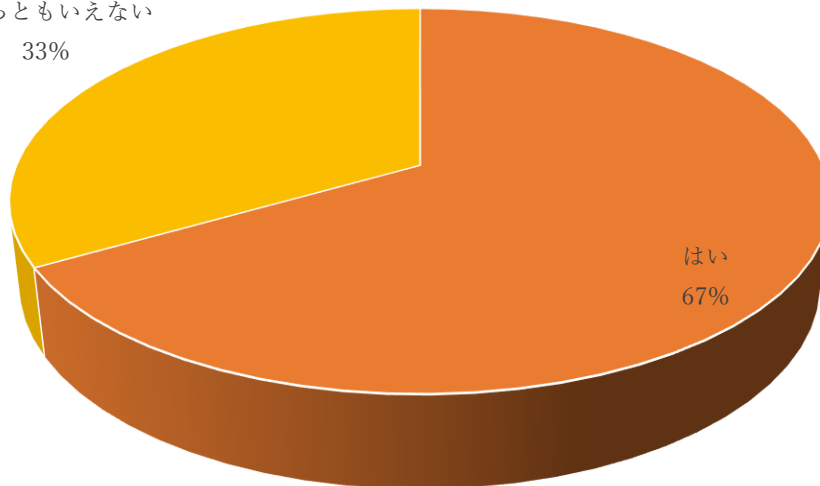
公表：令和元年12月12日

事業所名：多機能型ライフサポート 一互一笑

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、改善目標など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		工夫・利用人数が多い日は同法人の交流スペース等の別室を利用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			

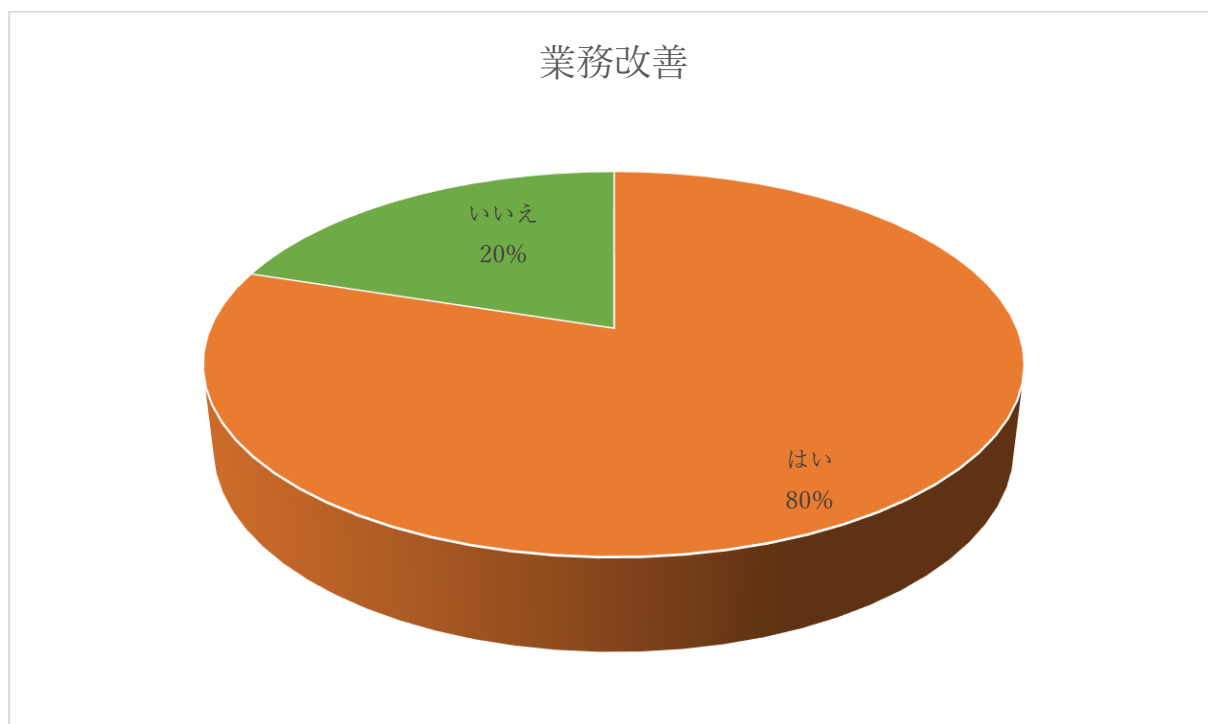
環境・体制整備

どちらともいえない
33%



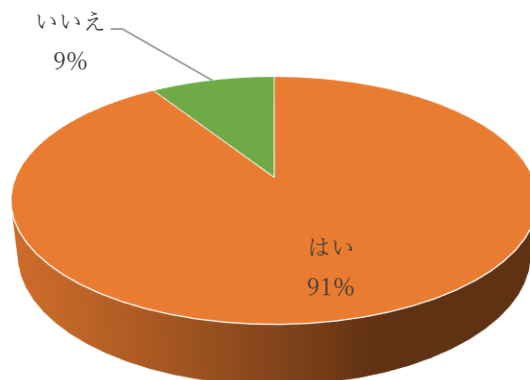
はい
67%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、改善目標など
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			工夫・短期的な目標と長期的な目標を自分たちで考え、毎月の会議で達成度を発表している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			工夫・輪島市の研修や、県の虐待等の研修等に職員が行くことが出来るよう計画している。



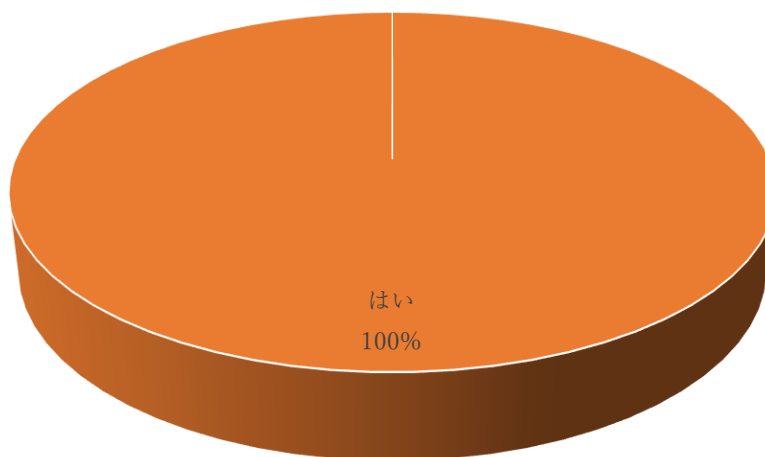
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、改善目標など
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			工夫・子どもと保護者のニーズを聞き取り、支援会議を開催した上で計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	改善・相談支援専門員のアセスメントを参考に使用していたが、施設独自のツールも現在検討中である。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			工夫・プログラムについて、前月に予定を立てて計画的に実施している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			工夫・お子さんの担当のポーターの指導員や作業療法士の方に定期的にアドバイスを受けている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			工夫・一人一人の特性や必要性を学校とも連携しながら、課題を決めて実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			工夫・朝礼時に当日の予定や支援内容を共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			工夫・終礼での振り返り、気づき等情報の共有を図っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			

適切な支援の提供



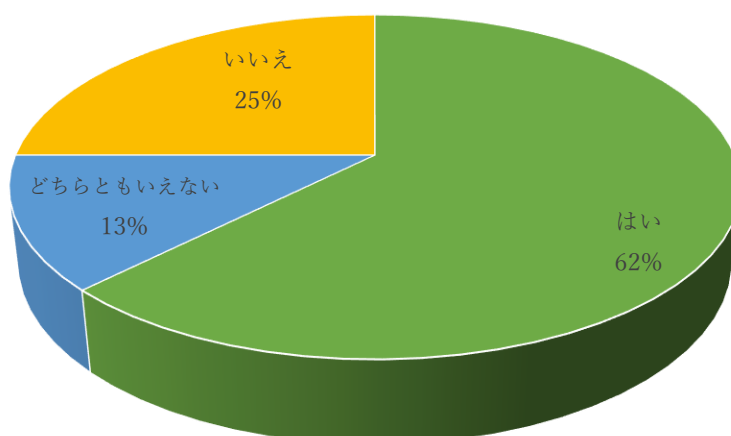
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、改善目標など
関係機関や保護者との連携	㉔	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			工夫・一人一人の子供に担当の職員を配置している。
	㉕	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			工夫・支援学校等と行事等の共有を図っている。

関係機関や保護者との連携



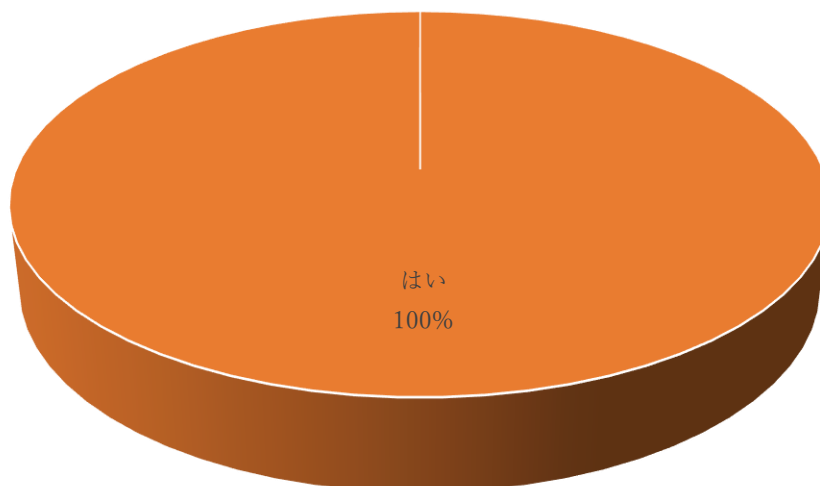
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、改善目標など
関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		改善目標・相談支援専門員や訪問看護、保険師と連絡体制を整えている。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			工夫・利用開始時に一堂に集まり情報を共有、引き継ぎを行っている。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	改善目標・近隣にセンターが無い場合、連携は行っていない現状があるが、定期的に研修会に参加する等していく。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			工夫・夏休みに、地域の放課後児童クラブの行事に参加し交流している。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	改善目標・ペアレントトレーニングを行えるように、職員が研修会に参加し勉強中である。

関係機関や保護者との連携

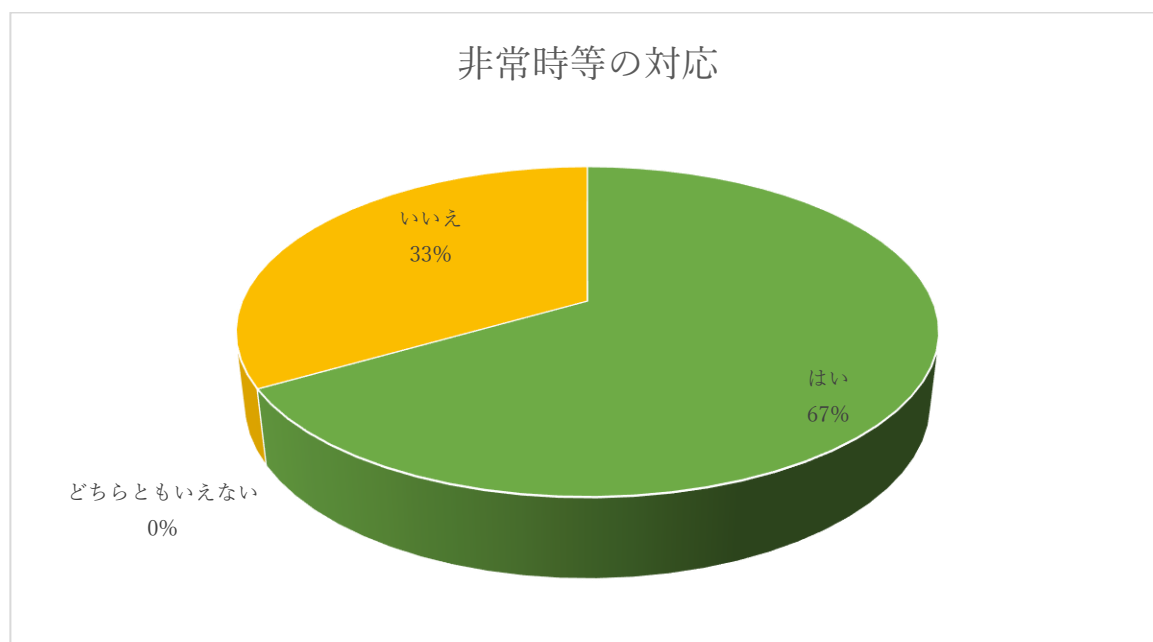


		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、改善目標など
保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			工夫・契約時や保護者からの問い合わせの際には、分かりやすく説明しています。
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			工夫・2カ月に1回、親の会を開催している。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			工夫・苦情受付責任者と解決責任者を配置し、苦情があった場合にすみやかに解決を図れるよう留意している。 改善目標・保護者の方が苦情を言いやすいしくみや体制を整えていきたい。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			工夫・毎月、行事予定のおたよりを配布している。
	⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			工夫・表情や様子等日頃の観察から読み取れるよう配慮している。
⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			工夫・親子バーベキューや餅つき等、地域との交流を図っている。	

保護者への説明責任等



		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、改善目標など
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	改善目標・保護者への周知が十分ではないので、今後検討していく予定
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			工夫・毎年5月と11月に避難訓練を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	改善目標・施設の身体拘束マニュアルは整備してあるが、障害児に対しての具体的な対応方法については記載がないので整備していく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			



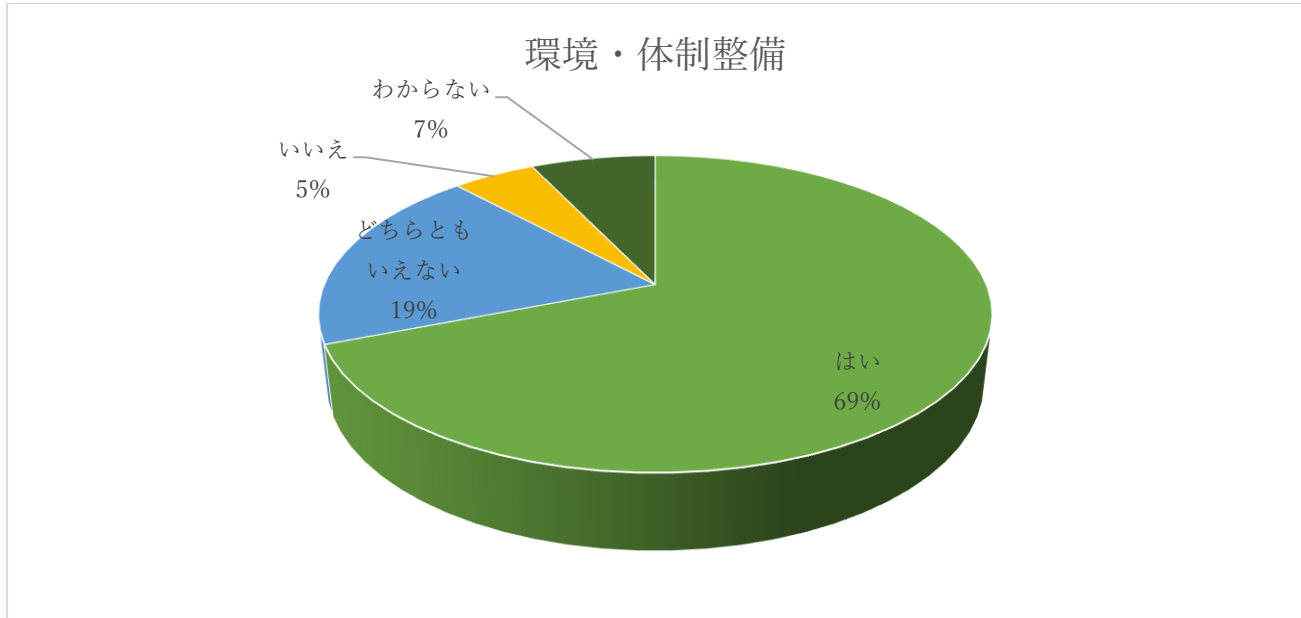
保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価

公表：令和元年12月12日

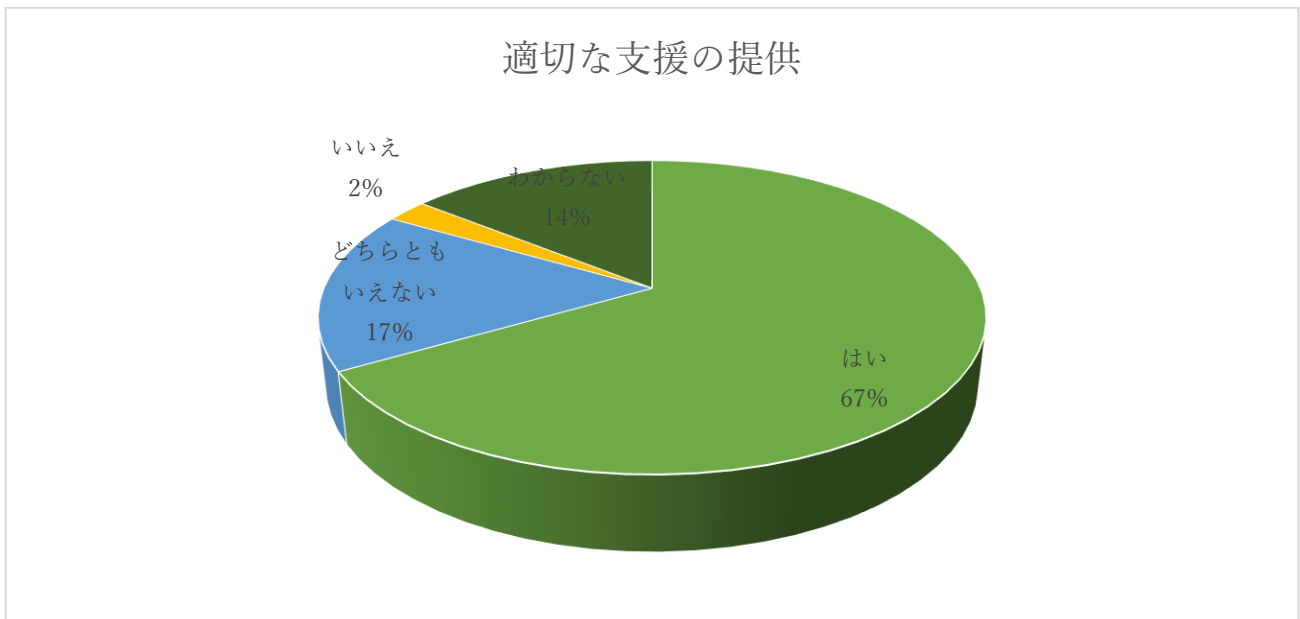
事業所名 多機能型ライフサポート 一互一笑

保護者等数（児童数） 回収数 14 割合100%

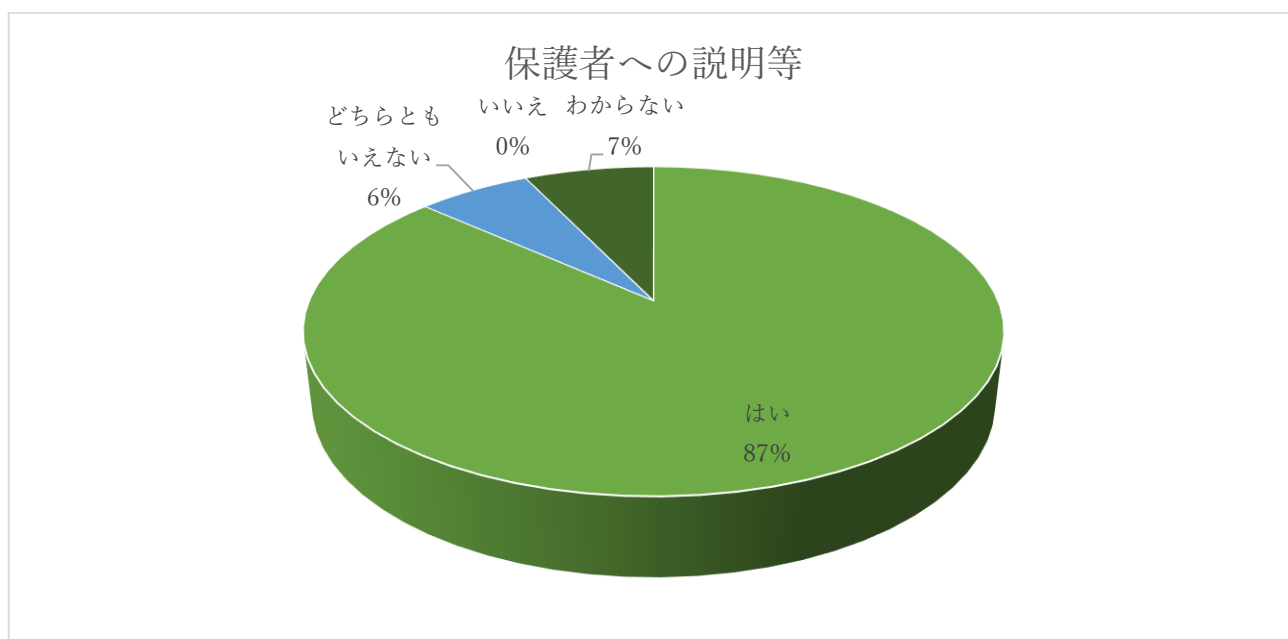
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見・対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	5	2		狭い。長期休暇は利用しないので大丈夫だが狭い。中高生が大変。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2		2	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリーの配慮が適切になされているか	12	1		1	



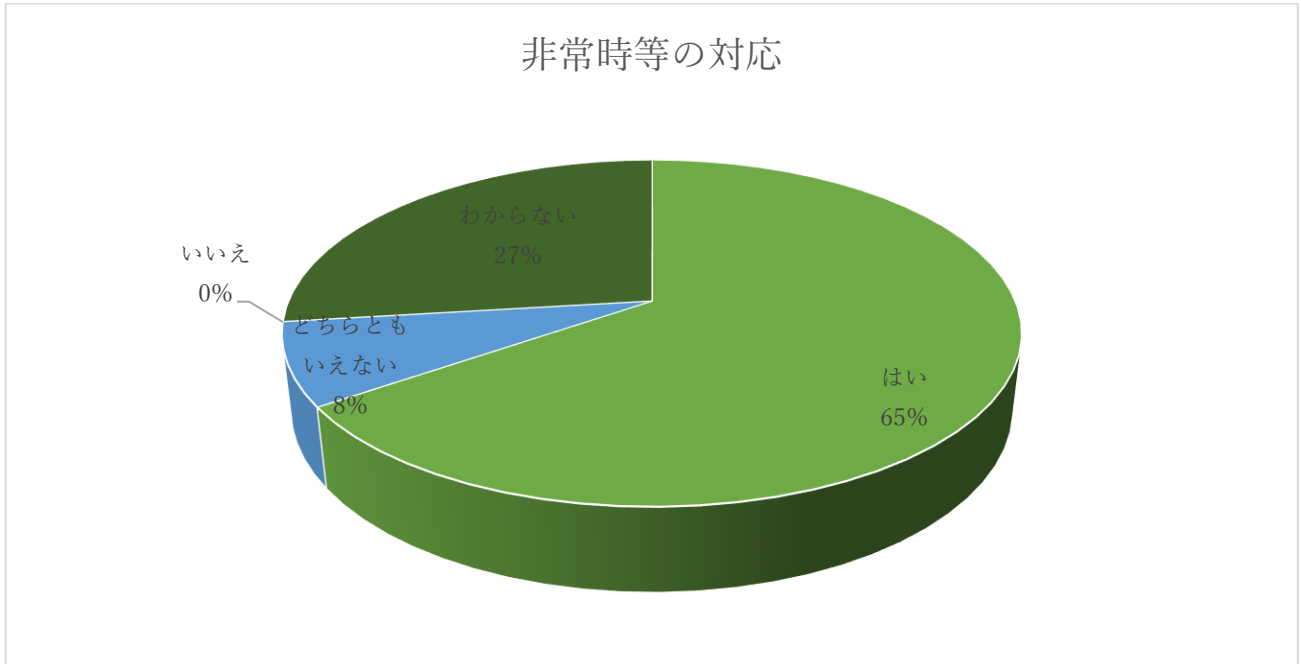
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見・対応
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12	1		1	
	5	活動プログラム*2 が固定化しないよう工夫されているか	10	3		1	外に出掛けるのが好きで嬉しいようです。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	3	1	4	



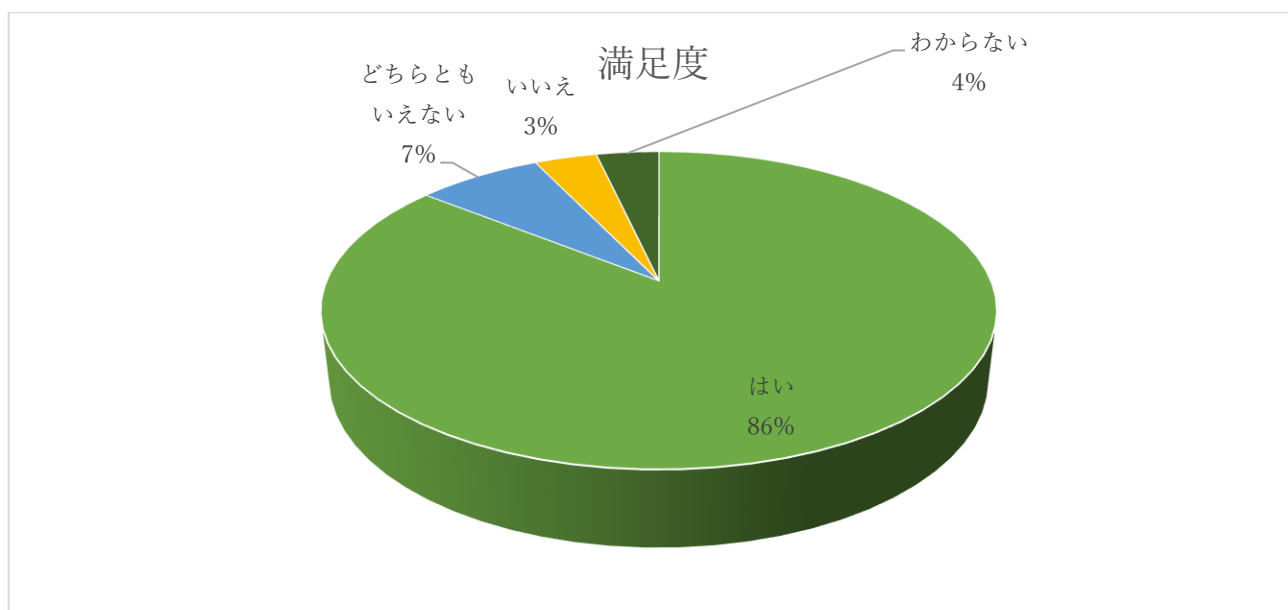
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見・対応
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13			1	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	1			ご意見・日頃ではなく、利用日にのみである。 1 対応・利用されていなくても発達の状況を共有していきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1		1	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	1		2	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1		1	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	2		1	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1		1	
	14 個人情報に十分注意しているか	14				



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見・対応
非常時等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マ ニュアル、感染症対応マニ ュアルを策定し、保護者に周知・説明 されているか	9	2		3	
	16	非常災害の発生に備え、定期 的に避難、救出、その他必要な 訓練が行われているか	8			4	



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見・対応
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	11	2	1		ご意見・いつも外出の機会を作ってくれ有難い。
	18	事業所の支援に満足しているか	13			1	



- *1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。
- *2 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
- *3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。
- *4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。